

6-1 主な調査研究・国際会議出席・試験設備・試験所認定・広報等  
〔2002～2021 年度〕

	2002(平成 14)年度	2003(平成 15)年度
調査研究	(1) 同時多発火災リスク評価手法の研究 ・火災進展評価コードの開発 【共同調査研究：海上技術安全研究所】	(1) 次世代救命システムに関する調査研究〔#1〕 ・次世代救命システム(避難・救助等)の基本概念構築 ・集団・個人用救命設備等の基本能要件の検討 ・新世代救命システムの国際基準案作成
	(2) 現存船のVDRの実現可能性についての調査 ・IMO/MSC/NAV(航行安全小委員会)の検討対応 ・VDRの実用性調査、性能・試験基準案の作成 〔VDR：航海情報記録装置〕	(2) 船舶の総合的安全性評価に関する調査研究 ・船舶の技術的規制の最適化(費用対効果)のための評価システムの構築、評価手法の確立 【共同調査研究：海技研、NK、造船会社等】
		(3) 有機スズ系防汚塗剤の使用規制に関する調査研究 ・IMO ガイドライン(検査・PSC・試料採取)策定関連 ・有機スズ(TBT)塗料の2次分析法(原案)を策定 【共同調査研究：海技研】
		(4) 内装材の火災時のガス毒性判定基準に関する調査研究 ・IMO/FP(防火小委員会)提案の基礎資料を作成 ・床張材のSO <sub>2</sub> 濃度判定基準の妥当性について検討
国際会議出席	(1) 第11回合同会議《ドイツ・ケルン》出席 (CEN/TC162/WG 及び ISO/TC188/WG14) ・小型船舶用救命胴衣の審議に参加	(1) 次世代救命システムに係る国際会議《米国》 (ISO/TC188/WG14・CEN/TC162/WG6 合同会議) ・救命設備の国際基準案の審議に参加
	(2) IMO/47FP(第47回防火小委員会)《英国》 ・SOLAS 条約第Ⅱ-2章火災試験方法の統一解釈の策定 ・火災安全システムの性能試験・承認基準の策定	(2) 避難時の人の動きに関する2003年会議(PED2003) 《英・ロンドン》 ・船舶の総合的安全性評価に関する調査研究に関連して、避難時の人の動きに係る検討会議に参加
	(3) IEC 火災安全調査《シンガポール》 ・機械区域及び車両区域の消火設備の基準検討に係る調査	(3) IMO/48FP(第48回防火小委員会)《英・ロンドン》 ・SOLAS 条約第Ⅱ-2章・火災試験方法の統一解釈の策定 ・火災安全システムの性能試験・承認基準の策定
	CEN：欧州標準化委員会 ISO：国際標準化機構 IEC：国際電気技術規格機構	
試験設備		・大型塩水噴霧試験機【新替】 ・色彩輝度計【新替】 ・燃焼ガス分析用赤外分光光度計【新替】
試験所認定		〔2003(H15).11〕【新規認定・4年毎更新】 ・(公財)日本適合性認定協会(JAB)からISO/IEC 17025に適合する試験所として認定 適用範囲：火災試験(SOLAS 条約 FTP コード試験) 〔2003(H15).12〕【5年毎更新(1998(H10)年度に新規認定)】 ・国土交通省海事局よりSOLAS 条約 FTP コード(火災試験方法の適用に関する国際コード)に定める試験機関として認定
広報等	・創立30周年記念式典開催(2002年11月7日) ・創立30周年記念誌の作成・配布 ・パンフレット・リーフレット等を顧客に送付 ・業界紙・委員会・学会等への寄稿	・試験所認定(国土交通省海事局、JAB)について、Web サイト、新聞、業界紙を通じて PR ・危険物容器試験等のリーフレット作成・配布 ・センター概要の雑誌掲載、広告等により PR

	2004(平成16)年度	2005(平成17)年度
調査研究	(1) 次世代救命システムに関する調査研究[#2] ・次世代救命システム(避難・退船・救助)の枠組検討 ・SOLAS 第Ⅲ章改正の方向性・骨格・内容を提示 ・IMO 指針案(避難、退船システム、捜索救助)の検討	(1) 次世代救命システム基準の作成に関する調査研究 ・次世代救命システム(避難・退船・救助)の枠組を提示 ・SOLAS 第Ⅲ章改正の方向性・骨格・内容を提示 ・IMO 指針案(避難、退船システム、捜索救助)の検討
	(2) 浮揚型 VDR の実用性及び性能基準に関する調査研究 ・浮揚型 VDR の技術基準・搭載要件を規定、設置を推進 ・技術基準策定のための調査研究、総合実証試験を実施 【共同調査研究：海技研、NK、造船会社等】	(2) 塗装基準に関する調査研究 ・IMO 新構造基準の構築の一環で塗装性能の調査検討 ・船体構造強度、検査・保守管理に関する基準作成に反映 ・①造船所の塗装仕様の調査、②塗装膜厚の実態調査
	(3) 救命艇の品質改善に関する調査研究 ・救命艇の構造に起因する事故・誤作動等の事案を調査 ・事故原因の解析、対処方策を検討	(3) 発光ダイオード(LED)を使用した航海灯に関する調査研究 ・LED 航海灯の性能を確認する技術要件を検討 ・2 型式の LED 航海灯を試作し、光度性能測定、配光シミュレーション計算等の解析手法
	(4) 移動制約者の救命設備に関する調査研究 ・海難事故時の移動制約者の安全対策の観点から調査 ・救命設備等の改良、試作を行い、品質向上を図った ・交通バリアフリー法等の基準見直し	(4) 船舶の防火に関する調査研究 ・新たな船舶防火材料及びシステムに対応して IMO/FTP コードの総合的な見直し ・検証試験を実施して FTP コード改正案を検証
	(5) 小型船舶用膨脹式救命胴衣の経年劣化に関する調査研究 ・小型船舶に備付けの救命胴衣の経年劣化状況を把握 ・保守点検方法、検査の留意事項のとりまとめ	(5) 温室効果ガス(GHG)の船舶からの排出算定基準の作成に関する調査研究 ・IMO/MEPC で作成された「船舶からの GHG 排出算定方法の暫定指針」の実用性・適用性・妥当性を検証 ・既存船の船種・船齢別のデータを収集・解析して GHG 排出算定基準作成の問題点を考察し、国際的に統一したデータ・フォーマットを検討
	(6) 船舶から発生する有毒揮発性ガスによる複合汚染の低減に関する研究 【共同研究：海技研】 ・ケミカルタンカーの居住区・ポンプ室等における輸送化学物質の環境濃度、乗組員の暴露濃度等を計測 ・乗組員の健康への影響度を調査	
国際会議出席	(1) 次世代防災避難救命システムに係る国際会議 (ISO/TC188/WG14・CEN/TC162/WG6 合同会議) ・救命設備の国際基準案の審議に参加	(1) 個人用安全艙装品に関する合同作業委員会 (CEN/TC162/WG6・ISO/TC188/WG14)《ノルウェー》 ・個人用安全艙装品の CEN/ISO 合同規格について審議
	(2) 次世代防災避難救命システム(救命設備)に係る国際会議 (ISO/TC188/WG14・CEN/TC162/WG6 合同会議)《ドイツ・ベルリン》 ・ISO 等の国際基準策定の動向調査	(2) IMO/50FP(第 50 回防火小委員会)《英・ロンドン》 ・旅客船の避難解析指針の見直し ・FTP コードの見直し ・救命艇の事故防止
	(3) IMO/49FP(第 49 回防火小委員会)《英・ロンドン》 ・SOLA 条約第Ⅱ-2 章・火災試験方法の統一解釈の審議 ・火災安全システムの性能試験・承認基準案の審議	
	(4) IMO/48DE(第 48 回船舶設計設備小委員会)《英・ロンドン》 ・救命設備の基準案を審議	
試験設備	・EMC 試験設備(電波暗室)【改造】 (EMC 試験規格の測定周波数変更(30/80MHz~2GHz)に対応) ・煙・毒性ガス試験設備(ガスセル等)【更新】 (FTP コード Part2 試験方法の変更(検知管⇒FTIR)に対応)	・標準火災試験装置(FTP/Part3)の排煙設備【新設】
試験所認定		
広報等	・製品安全評価センターへの名称変更(2005.4.1)の周知のために、国土交通省、関係団体等に通知状を送付 ・EMC 試験設備(2GHz 対応電波暗室)のリーフレット配布	・製品安全評価センターへの名称変更(2005.4.1)の周知 ・製品安全評価センターの紹介記事を会報(品管時報)に掲載

# 6 資料

	2006(平成18)年度	2007(平成19)年度
調査研究	(1) 次世代救命システム基準の作成に関する調査研究 ・次世代救命システムの枠組を提示 ・SOLAS 第三章改正の方向性・骨格・内容を提示 ・IMO 指針案(避難経路、退船システム、捜索救助)の IMO における審議に資するために以下の調査研究を実施 ①救命システム基本要件の検討 ②個人・集団用退船システムの機構・性能評価方法の検討	(1) 救命設備の総合的性能基準に関する調査研究 ・SOLAS 第三章(救命設備要件)と 第Ⅱ-2 章(避難経路・防災避難安全)の整合性が欠如 ・SOLAS 及び LSA(国際救命設備)コードには、救命設備、救命具の仕様が規定され、技術の進展に対応困難 ・昨年度の成果(次世代救命システムの新たな枠組と SOLAS 第三章の方向性と骨格)を基に以下の調査研究を実施 ①救命システムの基本要件の検討 改正 SOLAS 第三章の骨子となる基本性能要件案を作成 ②性能評価方法の検討 新しい救命設備に関する同等性評価手法(ユニバーサルデザイン手法を導入)を検討
	(2) 船舶の防火に関する調査研究 ・新たな防火材料・システムに対応した FTP コードの総合的改正案について検証試験を実施により検証	(2) 船舶の防火に関する調査研究 ①火災試験方法コード(FTP コード)の総合的見直し及び火災安全に係る基準に関する調査研究 ②高膨張式泡消火装置の性能基準に関する調査研究
	(3) 温室効果ガス(GHG)の船舶からの排出算定基準の作成に関する調査研究 ・IMO/MEPC 暫定指針の実用性、適用性を検証 ・暫定指針改定に向けて GHG 排出量データを収集・解析	(3) 温室効果ガス(GHG)の船舶からの排出算定基準の作成に関する調査研究 ・IMO/MEPC 暫定指針の実用性、適用性を検証 ・暫定指針改訂案作成に向けて 56 隻の 1 年間分の GHG 排出量データを収集・解析
	(4) 船舶用持運び式消火器の試験基準に関する調査研究 ・消火器に係る日本の型式承認規則と ISO 規格・外国基準の差異を比較調査し、将来的な試験基準見直しの為の基礎資料とする ・型式承認試験基準の改定案を作成	(4) 救命設備関連の型式承認基準の見直しに関する調査研究 ・IMO/MSC での SOLAS 第三章、LSA コード、試験基準等の全面改正に対応した型式承認基準の見直しが必要 ・SOLAS 条約の改正内容を取入れた型式承認基準原案を作成
	(5) SOLAS 新基準に対応する個人用救命設備に関する調査研究 ・幼児用救命胴衣等の導入に係る試験・評価方法変更 ・浮力材及びリフティンググループの強度試験、参考胴衣(RTD)による水中性能評価試験の導入について検証	
国際会議出席	(1) IMO/DE50(第 50 回船舶設計設備小委員会)《英・ロンドン》 ・ボイドスペースの防食塗装の性能基準 ・救命艇の事故防止策、救命設備の適合性等	(1) IMO/DE51(第 51 回船舶設計設備小委員会)《独・ボン》 ・救命艇の事故防止策、新形式救命設備の承認指針、貨物油タンクの腐食防護措置、アスベストの使用禁止
	(2) 個人用安全艙装品に関する CEN・ISO 合同会議(CEN/TC162/WG6・ISO/TC188/WG14)《南ア・独》 ・イマーションスーツ規格(ISO 15027)の改定 ・救命胴衣(ISO 12402)の検討	(2) CEN/TC162/WG6・ISO/TC188/WG14 合同会議《独・ケルン》 ・イマーションスーツの ISO 規格(ISO 15027)の改正 ・救命胴衣関連 ISO 規格(ISO 12402)の訂正版作成 ・サーマルマネキンによる試験所間比較試験の実施を計画
	(3) IMO/51FP(第 51 回防火小委員会)《英・ロンドン》 ・新現存旅客船の避難解析勧告、火災安全設備の性能試験及び承認基準、FTP コードの全面見直し	(3) IMO/FP52(第 52 回防火小委員会)《英・ロンドン》 ・火災試験方法コードの総合見直し(日本提案)
		(4) ISO/TC8/SC1/WG3 ・船舶用オイルミスト検知装置の規格案《瑞・ストックホルム》 ・火災感知装置、安全標識の規格案《英・ロンドン》
		(5) IMO/NAV52(第 52 回航行安全小委員会)《英・ロンドン》 ・E-ナビゲーション、航海灯性能基準案
試験設備	・フレキシブルコンテナ(FIBCs)試験装置【改良】	
試験所認定		[2007(H19).11]【4年毎更新】 ・(公財)日本適合性認定協会(JAB)から ISO/IEC 17025 に適合する試験所として認定 認定範囲：火災試験(SOLAS 条約 FTP コード試験)
広報等	・製品安全評価センターへの名称変更(2005.4.1)の周知 ・製品安全評価センターの紹介記事を会報(品管時報)に掲載	・製品安全評価センターの紹介記事を会報(品管時報)に掲載

	2008(平成 20)年度	2009(平成 21)年度
調査研究	(1) 救命設備の総合的性能基準に関する調査研究(救命プロジェクト) ・「次世代救命システムの調査研究(2006)」の成果を基に救命設備の新たな総合的性能基準案を作成して IMO/DE52 に提案 ・集団救命設備・個人救命具の同等性性能評価基準案作成 ①救命設備の総合的性能基準案の検討 救命設備の基本性能要件をシステマティック・アプローチに基づき検討し、総合性能基準案を作成 ②救命設備に関する同等性性能評価基準案の検討 SOLAS 条約第三章の仕様要件に合致しない新しい救命設備に関する同等性性能評価基準案を作成 ③救命設備試験勧告の見直し イマーシヨンスーツの保温性能試験方法の提案文書作成	(1) 救命設備の総合的性能基準に関する調査研究 ①IMO/DE 救命設備コレスポネンスグループ対応 ・救命艇事故防止対策(救命艇離脱フックの評価、標準的な配置・操作方法、救命いかだの定員等) ・海上漂流者の回収装置の性能基準、主管庁の搭載緩和等 ・救命艇離脱装置の新評価試験法(日本提案) ②イマーシヨンスーツの保温性基準の改正案 ・人体の耐寒性に依存しない標準スーツによる評価方法
	(2) 船舶の防火に関する調査研究(防火プロジェクト) ①FTP コードの総合見直しに関する調査研究 FTP コードが引用する ISO 規格の改正、新防火材料・システムの出現に対応して FTP コードの総合的に見直し、改正案を作成 ②機関室のオイルミスト感知装置に関する調査研究 オイルミスト感知装置の詳細を定めた ISO 規格案を作成し、ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)に提案 ③FSS(火災安全設備)コード改正案の策定 機関室用高膨張泡消火装置の性能基準案を作成し IMO/FP に提案	(2) 船舶の防火に関する調査研究 ①火災安全に関わる基準に関する調査研究 ・FTP コード Part2(煙・毒性)試験に FTIR 法(ISO 規格)を適用 ・FTP コード Part2・ISO 21489 の試験所間試験参加・動向調査 ・試験所間試験の不確かさ・技術的注意点のまとめ ・ISO 21489 の規格の変更点の把握 ②FSS コードの見直しに関する調査 ・高膨張泡消火装置の性能基準案の実験的検証
	(3) 型式承認試験基準見直しに関する調査研究 ・以下の型式承認試験基準の見直しに関する調査研究 i)LED 航海灯 ii)浸水警報装置の検知器及び警報盤 iii)個人用救命設備	(3) 型式承認試験基準見直しに関する調査研究 ・型式承認試験基準の見直し原案の作成 i)集団用救命設備 ii)消火ホースノズル iii)救命胴衣、作業用救命衣等
	(4) 小型船舶用救命胴衣の劣化に関する調査研究 ・膨脹式救命胴衣の合理的な膨脹試験の実施時期を設定	(4) 小型船舶用固定式救命胴衣開発試作品の性能試験 ・漁業者が使いやすい固定式救命胴衣の安全要件の検討・提言 ・漁業者用固定式救命胴衣の試作品の安全基準 ・型式承認試験基準への適合性評価
国際会議出席	(1) IMO/DE52(第 52 回船舶設計設備小委員会)《英・ロンドン》 ・救命艇の事故防止策、新形式救命設備の承認指針、貨物油タンクの腐食防護措置、アスベストの使用禁止	(1) IMO/DE53(第 53 回船舶設計設備小委員会)《英・ロンドン》 ・救命艇の事故防止策 (救命艇のオンロード離脱フックの性能評価方法(日本提案))
	(2) CEN/TC162/WG6・ISO/TC188/WG14 合同会議 《独・ベルリン、英・ロンドン》 ・個人用安全艙装品の国際規格案の審議	(2) ISO/TC188/WG14・CEN/TC162/WG6 合同会議《米・フロリダ》 ・イマーシヨンスーツ規格(ISO 15027)、救命胴衣規格(ISO 12402)の改正審議 ・サーマルマネキンに関するアドホックグループ会議
	(3) IMO/FP53(第 53 回防火小委員会)《英・ロンドン》 ・火災試験方法(FTP)コードの総合見直し(日本提案) ・火災試験方法(FTP)コードの改正案	(3) ISO/TC8/SC1/WG3《米・ボルチモア、英・ロンドン》 ・炎感知装置の ISO 規格 ・安全標識の ISO 規格案
	(4) ISO/TC8/SC1/WG3 ・船舶用オイルミスト検知装置の規格案《伊・ソレント》 ・火災感知装置、安全標識の規格案《英・ロンドン》	
試験設備	・キセノンウェザーメータ【新設】(SOLAS 条約第三章関連) ・クロスオーバー試験機【新設】(塗料試験関連)	・電気式油圧振動試験装置制御器【更新】 (地震波・バンプ試験、ランダム振動試験の細密化) ・IP 試験装置(注水試験)【改修】 (船舶関連試験規格(IEC 60945)に適合)
試験所認定	[2008(H20).12]【5 年毎更新】 ・国土交通省海事局より SOLAS 条約 FTP コード(火災試験方法の適用に関する国際コード)に定める試験機関として認定	
広報等	・Web サイト(ホームページ)の逐次更新・拡充 ・製品安全評価センターの紹介記事を会報(品管時報)に掲載	・Web サイトに「よくある質問(FAQ)」コーナーを新設 ・新設・更新設備のパンフレット改訂 ・船舶安全に関わる研究成果を航海学会に発表

# 6 資料

	2010(平成 22)年度	2011(平成 23)年度
調査研究	<p>(1) 船舶の救命設備に係る基準に関する調査研究</p> <p>①船舶救命設備の包括的性能基準に関する調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MSC82(2006.11)で「救命設備要件に関する新たな枠組」が議題となり2009.3からDE(船舶設計設備小委員会)で審議</li> <li>・DE54(2010.10)での審議に向け、新たな枠組の目標、救命設備要件を整理し、提案文書を作成</li> </ul> <p>②イマーシヨンスーツの保温性試験に関する検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の保温性試験は被験者の差異による試験結果のバラツキが大きいため、救命胴衣の水中性能試験に用いられる基準試験品による方法(RTD:Reference Test Device)の適用を提案</li> <li>・指摘された評価方法、試験方法の問題点の解決策を検討</li> </ul>	<p>(1) 船舶の救命設備に係る基準に関する調査研究</p> <p>①船舶救命設備の基本性能要件に関する調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命設備の目的、機能要件を定義し、現行 SOLAS 条約第三章を再構築する案を DE54(2010.10)に提案</li> <li>・船舶救命設備規則の新しい枠組について、IMO の目標指向型基準(GBS:Goal Based Standard)一般指針に則って検討を行い、提案文書案を作成</li> </ul> <p>②イマーシヨンスーツの保温性試験に関する検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行保温性試験は、被験者の差異による試験結果のバラツキがあるため、基準試験品による方法(RTD)の適用を提案</li> <li>・海外専門家と連携して試験法(最小熱抵抗値)を提案</li> </ul>
	<p>(2) 救命胴衣、作業用救命衣の型式承認試験基準改正の調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO 12402(救命胴衣・浮力補助具)や SOLAS 条約(救命設備試験勧告)の信頼性、耐久性及び耐環境性能関連の試験を調査</li> <li>・ISO 12402 に準じた型式承認試験基準の改正原案を作成</li> </ul>	<p>(2) 型式承認試験基準等の見直しの調査研究</p> <p>LSA コード改正に伴い型式承認試験基準の改正原案を作成</p> <p>①救命艇の事故防止対策</p> <p>②救命設備試験勧告の編集上の修正</p>
国際会議出席	<p>(1) IMO/DE54・55(第 54・55 回船舶設計設備小委員会)《英国》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命艇の事故防止対策</li> <li>(救命艇の事故防止対策におけるオンロード離脱フックの評価・交換に関するガイドライン案)</li> </ul>	<p>(1) IMO/DE56(第 56 回船舶設計設備小委員会)《英・ロンドン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船舶救命設備規則の新しい枠組</li> <li>・イマーシヨンスーツの保温性試験案</li> </ul>
	<p>(2) IMO/FP54(第 54 回防火小委員会)《英・ロンドン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災安全設備の性能試験・承認基準の見直し</li> <li>FSS コード第 6 章(固定式泡消火装置)改正案</li> <li>固定式高膨張泡消火装置の試験・承認指針案</li> <li>固定式局所消火装置の試験・承認指針改正案</li> </ul>	<p>(2) IMO/FP55(第 55 回防火小委員会)《英・ロンドン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災安全設備の性能試験・承認基準の見直し</li> <li>FSS コード(固定式泡消火装置)改正案、固定式高膨張泡消火装置の試験・承認指針修正案の審議</li> </ul>
	<p>(3) ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 同 WG3(防火作業委員会)《伊・ジェノア》</li> <li>・船舶用防火設備に関する審議</li> <li>オイルミスト感知装置(NP/CD16437)、船舶消防員装具(ISO 23269-2,-3)、安全標識(ISO 規格)</li> </ul>	<p>(3) ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 同 WG3(防火作業委員会)《日本・神戸》</li> <li>・船舶用防火設備(オイルミスト感知装置)、船舶用安全標識の審議</li> </ul>
	<p>(4) ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 同 WG3(防火作業委員会)《英・ロンドン》</li> <li>・船舶用安全標識の規格原案(ISO/DIS 24409-2,-3)作成</li> </ul>	<p>(4) ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 同 WG3(防火作業委員会)《英・ロンドン》</li> <li>・船舶用安全標識の規格原案(ISO/DIS 24409-2,-3)作成</li> </ul>
	<p>(5) ISO/TC188/WG14・CEN/TC162/WG6 合同会議《独・ベルリン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命胴衣規格、イマーシヨンスーツ規格の改正審議</li> </ul>	<p>(5) ISO/TC188/WG14・CEN/TC162/WG6 合同会議《独・ベルリン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命胴衣規格、イマーシヨンスーツ規格の改正審議</li> </ul>
試験設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防爆試験設備(赤外線ガス検知器)【更新】</li> <li>・EMC 試験用シグナルアナライザー【更新】</li> <li>・標準火災試験装置(ガスバーナー)【更新】</li> <li>・落下水槽(18m落下試験塔)【撤去】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準火災試験設備(試験体フレーム)【改修】</li> <li>・不燃性試験設備【改修】</li> <li>・EMC 試験装置(イミュニティ試験機)【新設】</li> <li>・EMC 試験装置(シグナルアナライザー、信号発生器)【更新】</li> </ul>
試験所認定		<p>[2011(H23).11]【4年毎更新】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)日本適合性認定協会(JAB)から ISO/IEC 17025 に適合する試験所として認定</li> <li>認定範囲：火災試験(SOLAS 条約 FTP コード試験)</li> </ul>
広報等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IMO/FTP コードの総合見直しに関する情報ページを更新</li> <li>・新設・更新設備のパンフレット改訂</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web サイトの更新、「よくある質問(FAQ)」コーナーの充実</li> <li>・更新設備のパンフレット改訂</li> </ul>

	2012(平成 24)年度	2013(平成 25)年度
調査研究	<p>(1) 船舶の救命設備に係る基準に関する調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IMO/DE(船舶設計設備小委員会)における GBS 策定一般指針にそった救命設備規則の見直しにおける検討課題に対する問題点の整理、対処案のとりまとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>i)救命艇離脱装置等の定期点検・整備ガイドラインの義務化</li> <li>ii)イマーシヨンスーツの保温性能試験の見直し</li> <li>iii)救命胴衣の標準試験品 (RTD)を用いた試験方法の改正</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 煙探知機感度測定器の相関関係の調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固定式火災探知警報装置の基準改正 (IMO/MSC88)により煙探知機試験基準は、「日本規格」と「欧州基準 (EN 規格)」の何れかを選択可能となった</li> <li>・ 日本製品を海外で使用する場合、日本規格と EN 規格の両方をクリアする必要があるため、「日本規格に基づく測定」と「EN 規格に基づく測定」の相関関係を明確にするため、検証試験を実施し、相関関係図を作成</li> </ul>	<p>(1) 船舶の救命設備に係る基準に関する調査研究</p> <p>IMO/DE57 における新枠組に係るガイドラインの基本合意を受けて、船舶救命設備規則の包括的な見直しを視野に、新枠組の機能要件と現行規則の課題を抽出</p> <p>(2) 諸外国の個人用浮遊具に関する調査研究【JCI 受託】</p> <p>諸外国のレジャー用浮遊具の要求機能について、ISO 12402、UL 規格等を調査し、現行の型式承認試験基準、JCI 検定事務規定細則と比較</p> <p>(3) 津波対策用救命胴衣の技術基準の開発調査研究</p> <p>津波対策用胴衣(滞在用胴衣・移動用胴衣の 2 種類に大別)の内、滞在用胴衣の要求機能(浮遊性・保温性)の性能レベルについて検討</p>
	<p>(1) IMO/DE57(第 57 回船舶設計設備小委員会)《英・ロンドン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 船舶救命設備規則の新しい枠組</li> <li>・ イマーシヨンスーツの保温性試験案</li> </ul> <p>(2) IMO/FP56(第 56 回防火小委員会)《英・ロンドン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火災安全設備及び防火要件全般</li> <li>「機関区域からの脱出設備」</li> </ul> <p>(3) ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 同 WG3(防火作業委員会)《パナマ》</li> <li>・ 船舶用防火設備(船舶用炎式火災感知器: ISO/DIS 19292)</li> <li>・ 船舶用安全標識: ISO/CD 24409-3</li> </ul> <p>(4) ISO/TC92/SC1(火災安全専門委員会/火災発生発達分科会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火災伝播性試験方法 (ISO 5658-2)のラウンドロビン試験に参加</li> </ul>	<p>(1) IMO/SSE1(第 1 回船舶設備小委員会)《英・ロンドン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救命設備全般、特に救命設備規則の新しい枠組の構築</li> </ul> <p>(2) IMO/SDC1(第 1 回設計・建造小委員会)《英・ロンドン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火災安全設備及び防火要件全般</li> <li>SOLAS 条約第 II-1 章(区画・復元性、機関・電気設備)の各種要件(防火要件含む)及び関連コードを検討</li> </ul> <p>(3) ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 同 WG3(防火作業委員会)《デンマーク・コペンハーゲン》</li> <li>[RIME 平岡達弘がコンベナーとして参加]</li> <li>・ 火災探知装置: ISO/DIS 19292</li> <li>・ 船舶用安全標識: ISO/CD 24409-3</li> </ul>
国際会議出席		
試験設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EMC 試験装置(ネットワークアナライザー、オシロスコープ)【更新】</li> <li>・ 火災試験装置(シグナルコンディショナー、ガス密度計等)【更新】</li> <li>・ 試験棟廃棄処理煙突、再燃焼炉【改修】</li> <li>・ 構内電気設備(低圧開閉器)、試験棟動力用配電盤【改修】</li> <li>・ 構内防犯灯【新設】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験設備の整備に関する検討会(座長:山田副会長)を設置</li> <li>・ 動電式振動試験機【増設】</li> <li>・ 分光型放射計(LED 船灯に対応)【新設】</li> </ul>
試験所認定	<p>[2012(H24). 4]【新規認定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国土交通省海事局から、型式承認物件等に係る試験において試験データの活用ができる試験機関として認められる</li> </ul> <p>[2013(H25). 1]【新規認定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NIPPON KAIJI KYOKAI (Nether lands)BV(NK のオランダ法人)から MED(欧州船用機器指令)の試験が実施できる試験所として認定</li> </ul> <p>[2013(H25). 3]【認定範囲の追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (公財)日本適合性認定協会(JAB)から ISO/IEC 17025 に適合する試験所として認定</li> <li>認定範囲: 火災試験(SOLAS 条約 FTP コード)</li> <li>EMC(電磁両立性)試験【追加】</li> </ul>	<p>[2013(H25). 12]【5 年毎更新】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国土交通省海事局より SOLAS 条約 FTP コード(火災試験方法の適用に関する国際コード)に定める試験機関として認定</li> </ul>
広報等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Web サイト(ホームページ)の更新(一般社団法人化に対応)</li> <li>・ パンフレット(三つ折り)作成</li> <li>・ 「Shipbuilding in Japan」にセンター紹介記事を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Web サイト(ホームページ)の更新(一般社団法人化に対応)</li> <li>・ パンフレット(三つ折り)作成</li> </ul>

# 6 資料

	2014(平成 26)年度	2015(平成 27)年度
調査研究	<p>(1) 船舶の救命設備に係る基準に関する調査研究 IMO/SSE(船舶設備小委員会)/救命設備 CG(レスポンス・グループ)での救命設備規則の枠組に係る目標指向型(GBS)指針策定に関連救命設備の基本要件及び規則草案の検討</p> <p>(2) 諸外国の個人用浮遊具に関する調査研究 諸外国のレジャー用浮遊具の要求機能について、ISO 12402、UL 規格等について比較調査</p> <p>(3) 津波対策用救命胴衣の技術基準の開発調査研究 津波対策用胴衣(滞在用胴衣・移動用胴衣の2種類)の内、滞在用胴衣の要求機能(浮遊性・保温性)の性能レベルについて検討【継続】</p> <p>(4) 性能基準緩和に対応した SOLAS 型救命胴衣の調査 2016.1 から SOLAS 型救命胴衣の性能要件(口元高、復正時間、胴体角度、顔面角度等)が緩和されるため、浮力設計値が現行基準の救命胴衣と比較してどの程度軽減できるか調査</p>	
国際会議出席	<p>(1) IMO/SSE2(第2回船舶設備小委員会)《英・ロンドン》 ・救命設備全般、特に、救命艇・救助艇の進水装置・離脱装置の定期的整備・保守の要件</p>	<p>(1) IMO/SSE3(第3回船舶設備小委員会)《英・ロンドン》 ・救命設備全般、特に、救命艇・救助艇の進水装置・離脱装置の定期的整備・保守の要件【継続】</p>
試験設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動電式振動試験機【増設】(⇒振動試験機3基体制)</li> <li>・ 環境試験設備(中型恒温恒湿室)【新設】</li> <li>・ IP 試験設備(防水試験設備)【本館地下室へ移設】</li> <li>・ IP 試験設備(粉じん試験装置)【更新】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フレキシブルコンテナ(FIBCs)試験装置制御装置【更新】</li> <li>・ 容器試験用低温恒温室【更新】</li> <li>・ 振動試験設備(振動制御ソフト)【更新】 (振動試験を ISO/IEC 17025 試験所認定範囲とするための準備)</li> <li>・ 防爆試験設備【改修】(国際整合防爆指針 2015 に対応)</li> </ul>
試験所認定		<p>〔2015(H27).11)〕【4年毎更新・認定範囲の追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (公財)日本適合性認定協会(JAB)から ISO/IEC 17025 に適合する試験所として認定 認定範囲：火災試験(SOLAS 条約 FTP コード) EMC(電磁両立性)試験 正弦波振動試験【追加】 温湿度環境試験【追加】</li> </ul> <p>〔2015(H27).12)〕【2年毎更新】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NIPPON KAIJI KYOKAI (Nether lands)BV(NK のオランダ法人)から MED(欧州船用機器指令)の試験が実施できる試験所として認定</li> </ul>
広報等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験施設見学会開催(国、日本財団、団体、プレス等 31 名)</li> <li>・ 主要試験設備の利用状況(空き状況)を Web サイトで開示</li> <li>・ パンフレット(センター業務紹介)作成・配布</li> <li>・ リーフレット(設備更新等を紹介)作成・配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要試験設備の利用状況(空き状況)を Web サイトで開示</li> <li>・ パンフレット(センター業務紹介)作成・配布</li> <li>・ リーフレット(設備更新等を紹介)作成・配布</li> <li>・ 施設見学会開催</li> </ul>

	2016(平成 28)年度	2017(平成 29)年度
調査研究	<p>(1) 極海航行船コードに関連する救命設備に対する評価項目の検討《ISO/TC8/SC1 レイキャビク会議(2016. 5) 対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・極海航行船コードの内容を検討して評価因子を抽出するとともに LSA コード等救命設備関連規定との関係を整理し、救命設備の評価基準検討のための基礎資料を作成</li> </ul> <p>(2) 極海航行船コードに関連する救命設備の新規作業項目の検討《ISO/TC8/SC1 プール会議(2016. 12) 対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・極海航行船コード関連 ISO 規格の適用範囲・目的及び正当性・規格の構成等についての提案文書を作成《IMO/SSE4(2017. 3) 対応》</li> <li>・情報提供文書(SSE4/INF. 4)の原案作成</li> <li>・LSA コードに追加する要件、取入れ方法等に関する資料作成</li> </ul>	<p>(1) フローティングベストの性能調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釣り客が着用していたフローティングベストについて、小型船舶用救命胴衣(固型式)の型式承認試験基準に基づく試験を実施《瀬渡し船事故(2016. 12)の原因調査関連》</li> </ul> <p>(2) 海外製ライフジャケットの基準と認証制度に関する調査研究《救命胴衣の着用義務の拡大(2018. 2. 1)への対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外製ライフジャケット適用基準(SOLAS・ISO・UL 等)の実態を調査し、日本の関連基準と比較検討・海外の第三者認証制度(検定)について調査</li> </ul> <p>(3) 極海航行船コードに関連する救命設備の性能基準等の調査《ISO/TC8/SC1 会議(2018. 4-5) 対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・極海航行船コードに対応する救命設備の性能基準等の調査、関連 ISO 規格の課題のとりまとめ、規格化方針の策定</li> </ul>
	<p>(3) 小型船舶用救命胴衣の安全に係る性能評価に関する試験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸入販売されている小型船舶用救命胴衣について、日本の基準及び国際基準への適合性を確認するための性能評価試験を実施</li> </ul> <p>(4) 各国船用品の品質比較調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国製救命胴衣について、2005(H17)年度に実施した性能試験と同じ試験を実施して、この間の品質の変化を検証</li> </ul>	
国際会議出席	<p>(1) IMO/SSE4(第 4 回船舶設備小委員会)《英・ロンドン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命設備全般、救命艇・救助艇の進水装置・離脱装置の定期的整備・保守の要件</li> </ul>	<p>(1) IMO/SSE5(第 5 回船舶設備小委員会)《英・ロンドン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全閉型救命艇の適切な換気確保に係る LSA コード(救命設備)の改正案の策定</li> </ul>
		<p>(2) ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)《日本・東京》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船舶救命設備・消防設備の図記号</li> <li>・シーアンカー、膨張式救命設備のガス膨張システム</li> </ul>
試験設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境試験設備(塩乾湿複合サイクル試験機)【新設】(塩水噴霧・乾燥・湿潤状態を組み合わせた複合試験が可能)</li> <li>・EMC 試験設備(パワーメータ)【更新】</li> <li>・防爆試験設備【改修】(国際整合防爆指針 2015 に対応)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験設備の定期的解放点検・整備</li> <li>・JCSS(計量法に基づく登録制度)登録校正事業者による校正</li> </ul>
試験所認定		<p>[2017(H29). 12]【2 年毎更新】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NIPPON KAIJI KYOKAI (Nether Lands) BV(NK のオランダ法人)から MED(欧州船舶用機器指令)の試験が実施できる試験所として認定</li> </ul>
広報等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要試験設備の利用状況(空き状況)を Web サイトで開示</li> <li>・パンフレット(センター業務紹介)作成・配布</li> <li>・リーフレット(設備更新等を紹介)作成・配布</li> <li>・製品安全センターの英文略称「RIME」のロゴを商標登録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web サイト(ホームページ)のリニューアル</li> <li>・利用案内(業務概要、試験等申込・実施・問い合わせ先)、試験業務説明、試験設備の利用状況(空き状況)等の内容充実</li> <li>・センター見学会の開催</li> </ul>



# 6 資料

	2018(平成30)年度	2019(令和1)年度
調査研究	(1) 作業用救命胴衣の開発に係る性能試験 《海上保安庁「作業用救命胴衣開発検討会」対応》 ・海上保安庁が開発する作業用救命胴衣の技術要件の明確化を図るとともに、復正性能等の技術的要件に係る性能試験を実施	(1) SOLAS 型救命胴衣の復正の再現性に関する研究 《IMO での衣服着用時の救命胴衣の復正性能基準検討に対応》 ・既存の SOLAS 型救命胴衣を用いて復正試験(衣服着用状態)及び浮力試験(衣服を含む浮力計測)を実施して救命胴衣の復正の再現性について確認
	(2) 灯台の構造材[強化プラスチック(FRP)]に関する試験 ・灯台の構造材として使用されている FRP 材料について、設置後 40 年経過した部材の強度試験を実施 ・試験データのとりまとめ・解析を行い、今後の維持管理 ・更新計画の基礎資料を作成	
国際会議出席	(1) IMO/SSE6(第6回船舶設備小委員会)《英・ロンドン》 ・救命艇及び救命いかだの換気に関する要件 ・旅客フェリーの火災安全対策の暫定ガイドライン案 ・船上クレーンの安全要件	(1) IMO/SSE7(第7回船舶設備小委員会)《英・ロンドン》 ・救命艇及び救命いかだの換気に関する要件 ・LSA コード(救命設備基準)の改定 (日本から着衣状態での救命胴衣の復正試験結果を発表)
	(2) ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)《パナマ》 ・船上の安全標識	(2) ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)《英・ロンドン》 ・船舶救命設備・消防設備の図記号 ・船舶用スポット型炎感知器 ・船上の安全標識等のデザイン、位置の選定及び使用方法
	(3) ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)《英・ロンドン》 ・旅客船用低位置照明	
	(4) ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)《英・ロンドン》 ・船舶救命設備・消防設備の図記号	
試験設備	・試験設備更新計画を策定 ・IP 試験設備(散水ノズル、押圧力計、プローブ等)【更新】 (IP 試験を ISO/IEC 17025 試験所認定範囲とするための準備) ・防爆試験設備(ガス分析計)【更新】	・煙・毒性ガス試験装置(IMO/FTP コード Part2)【更新】 ・ポンプ熱量計(船舶防火構造規則の燃焼試験)【新設】 ・容器試験装置(水圧・気密試験装置)【改修】 ・容器試験装置(FIBCs 試験用フォークリフト)【更新】
試験所認定	[2018(H30).12]【5年毎更新】 ・国土交通省海事局より SOLAS 条約 FTP コード(火災試験方法の適用に関する国際コード)に定める試験機関として認定	[2019(R1).11]【4年毎更新・認定範囲の変更】 ・(公財)日本適合性認定協会(JAB)から ISO/IEC 17025 に適合する試験所として認定 認定範囲：火災試験(SOLAS 条約 FTP コード) 正弦波振動試験 温湿度環境試験 IP 試験【追加】 [2019(R1).12]【2年毎更新】 ・NIPPON KAIJI KYOKAI (Nether Lands) BV(NK のオランダ法人)から MED(欧州船用機器指令)の試験が実施できる試験所として認定
広報等	・Web サイト(ホームページ)のリニューアル[2018.4 から運用] (2018 年度閲覧回数:約 2 万回、新規利用者の増加に寄与) ・センター見学会の開催	・Web サイト(ホームページ)の適宜更新 (2019 年度閲覧回数:約 1.8 万回、新規利用者の増加に寄与) ・センター見学会の開催(3 回) ・パンフレット(2020.1 版)作成・配布

	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度
調査研究	(1) SOLAS 型救命胴衣の復正の再現性に関する研究 《海技研「救命胴衣の着用時の復正性能に関する実験的研究」に対応》 ・被験者が着衣状態で実施する復正性能水槽試験を実施 (※うつ伏せ状態から仰向け姿勢への移行の容易さ)	(1) 救命胴衣等の比較試験(2021-2022 年度) 《日本舶用品検定協会(HK)から受託》 ・外国製 SOLAS 型救命胴衣と救命胴衣灯の国際基準への適合性の比較試験を実施 ・2021 年度は、試験項目・方法等について確認するために、4 型式の救命胴衣等について予備試験を実施
	(2) イマーシヨンスーツの試験に係るサーマルマネキンの性能確保に関する共同調査 《日本舶用品検定協会(HK)と共同調査》 ・イマーシヨンスーツ(耐寒救命衣)の保温性能試験について、試験の信頼性向上、被験者の安全確保等の観点からセンターのサーマルマネキン(※1)を使用した試験方法を ISO 規格に盛込むことが検討されており、併せて試験方法の確立のためにラウンドロビン試験(※2)の実施を計画(日本・カナダ・ドイツ) ・サーマルマネキンの性能確保のための整備・調整を実施 (※1) 特殊な環境下(低温・高温等)における体温等を模擬的に計測する人型センサー (※2) 試験の信頼性を検証するために複数の試験機関が同一試験品を用いて実施する試験	(2) サーマルマネキンを用いたイマーシヨンスーツの保温性能試験方法の調査研究《RIME 自主事業》 ・イマーシヨンスーツ(耐寒救命衣)の保温性能試験について、試験の信頼性向上、被験者の安全確保等の観点からサーマルマネキンを使用した試験方法を ISO 規格に盛込むことが検討されており、試験方法の確立のためのラウンドロビン試験に参加 ・本試験の結果に基づき、ISO/TC188/SC1(個人用安全防護用品分科会)において検討されており、必要に応じて追加試験を実施予定
国際会議出席	(1) ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)《Web 会議》	(1) IMO/SSE8(第 8 回船舶設備小委員会)《Web 会議》 (救命) 極海域航行船舶の国際コード、救命艇の換気、SOLAS 付属書第三章 LSA コード、救命胴衣の復正性能等(防火) 防火設備基準等  (2) ISO/TC188/SC1(個人用安全防護用品分科委員会)《Web 会議》 ・サーマルマネキンのラウンドロビン試験等
		(3) ISO/TC8/SC1(救命・防火分科委員会)《Web 会議》 ・救命用具及び防火・消防設備の技術規格等 ISO/TC8/SC1/WG3(防火作業委員会) ・防火・消防設備の技術規格等
試験設備	・不燃性試験装置[炉内熱電対 2 本](IMO/FTP コード Part1) 【更新】 ・フーリエ変換赤外分光光度計・ガスセル(IMO/FTP コード Part2) 【更新】	・恒温器(プラスチック材質の影響評価試験(※)に使用) ※ガソリン等の危険物が輸送容器のプラスチック材質に及ぼす影響を調べる試験
試験所認定		[2021 (R3). 12]【2 年毎更新】 ・NIPPON KAIJI KYOKAI (Nether lands) BV(NK のオランダ法人)から MED(欧州船用機器指令)の試験が実施できる試験所として認定
広報等	・デジタイゼーションの進展、検査・承認機関の電子申請の普及等に対応して試験実施及び事務手続の効率化 - リモート試験【2020. 8 導入】 - 試験証明書(試験成績書等)電子発給の導入検討	・デジタイゼーションの進展、検査・承認機関の電子申請の普及等に対応して試験実施及び事務手続の効率化 - 試験証明書(試験成績書等)電子発給【2021. 4 導入】

6-2 官公庁・団体関係依頼試験研究〔2002～2021 年度〕

2002（平成 14）年度

（独）海上技術安全研究所

- ・避難シミュレータ実験実施および避難状況解析作業
- ・小型漁船の作業に適したイマーシブスーツの開発要素に関する調査
- ・火災進展評価コード作成のための実証実験

（社）日本造船研究協会

- ・GMDSS 設備の性能基準の総合見直し及び大型旅客船の救命設備に関する委託調査研究
- ・機関区域及び車両区域の消火設備の基準に関する検討
- ・火災安全設備の性能試験及び承認基準の見直しに関する検討
- ・機関区域の火災感知に関する指針案の検討
- ・航海データ記録装置(VDR)に関する研究調査
  - 現存船用簡易型 VDR 試作、実用性及び性能基準に関する試験
- ・FSA の改良と各国提案の検証
- ・大型浮体構造物の防火基準に関する調査研究

（財）日本船舶標準協会

- ・舟艇用固定式燃料タンクの耐火テスト ISO 10088
- ・ISO/TC8 の戦略的対応に対する基礎調査
- ・ISO/DIS 12402-7 Personal flotation devices - Part7（翻訳報告書）
- ・ISO/DIS 8666 舟艇—主要データ草案作成
- ・JIS F 0808 船用電気器具環境試験通則草案作成

（社）日本中小型造船工業会

- ・「中小型造船業における廃棄物の減量化等の推進」事業に係る調査研究及び廃棄物対策ハンドブック作成

（財）日本造船技術センター

- ・大型浮体式海洋構造物の法制度の整備に関する基礎調査
- ・災害時における大型浮体式海洋構造物の優位性を向上するための方策

（社）日本船舶品質管理協会

- ・幼児用救命胴衣の浮遊性能に関する調査研究事業
- ・船用自動化機器等の国際的な環境規制に対応するための調査研究事業

（財）日本舶用品検定協会

- ・外国舶用品の比較調査に関する調査研究
- ・危険物輸送におけるプラスチック容器の試験方法に関する調査研究

2003（平成 15）年度

国土交通省

- ・RORO 旅客船の救命いかだへの SART 搭載に関する調査

（独）海上技術安全研究所

- ・投下実船試験調査

日本小型船舶検査機構

- ・発光ダイオード(LED)式輸入船灯の色度試験及び配光試験に係る試験

（財）日本海事協会

- ・非着火性試験

（社）日本造船研究協会

- ・次世代救命システムに関する調査研究
  - 救命関係設備の現状実態調査、次世代救命システムの検討、  
集団用救命設備の性能・試験基準案の作成、個人用救命設備の性能・試験基準案の作成、  
次世代救命システムの IMO/ISO 基準案の作成

- ・火災安全設備の性能試験及び承認基準の見直しに関する検討
    - 火災危険性の抽出、火災安全設備の基本要件の策定 承認基準及び性能試験方法の見直し
  - ・船舶内装材料の火災時のガス毒性判定基準に関する調査研究
    - ISO 等の現状の基準の調査、燃焼毒性試験
  - ・総合的安全評価手法結果の取りまとめ
    - FSA の課題、IMO における SOLAS 同等安全処置規則案検討に関する調査検討、リスクアセスメント手法及びリスク評価基準
  - ・有機スズ系防汚剤の使用規制に関する調査研究
    - TBT 二次分析時の前処理方法・条件の検討、二次分析方法の原案作成
  - ・大型浮遊体構造物に関する調査研究
    - 火災・災害及び避難安全に関する検討、国際基準素案の作成
  - ・機関区域の火災探知に関する指針案の検討
    - 機関区域内の気流の調査、機関区域火災性状の調査、機関室用火災探知装置の性能要件の検討
  - ・航海データ記録装置（VDR）に関する調査研究
    - 現存船用 VDR の実用性及び性能基準に関する研究
  - ・固体ばら積み貨物の浸水率決定法に関する調査研究
- (財) 日本造船標準協会
- ・ ISO/TC8 の戦略的対応に関する基礎調査
  - ・ 船舶関係工業標準化ニーズ調査
- (財) 日本造船技術センター
- ・ 災害時における大型浮体式海洋構造物の優位性を向上するための方策
- (社) 日本船舶品質管理協会
- ・ 幼児用救命胴衣の浮遊性能評価に関する調査研究に係わる試験等の業務
  - ・ 救命艇の品質改善に関する調査研究に係わる試験等の業務
- (社) 日本船舶電装協会
- ・ 船舶電装工事の技術革新のための調査研究（電線の引張り強度試験）
- (財) 日本船用検定協会
- ・ 各国船用品の比較調査研究
  - ・ 危険物輸送におけるプラスチック容器の試験方法に関する調査研究

2004（平成 16）年度

海上保安庁

- ・ 強化プラスチック (FRP) に関する試験
- ・ 強化プラスチック (FRP) に関する試験（天田島灯台）

(独) 海上技術安全研究所

- ・ 揮発性ガス濃度測定及び分析

日本小型船舶検査機構

- ・ 小型船舶用膨脹式救命胴衣の経年劣化に関する性能試験

(社) 日本造船研究協会

- ・ 次世代防災避難救命システム基準に関する調査研究
- ・ 浮揚型 VDR の実用性及び性能基準に関する調査研究

(社) 日本船舶品質管理協会

- ・ 救命艇の品質改善に関する調査研究に係わる試験等の業務
- ・ 移動制約者の救命設備に関する調査研究に係わる試験等の業務

(財) 日本造船技術センター

- ・ 大型浮体構造物の火災・災害及び避難安全の安全評価指針に関する検討

## 6 資料

- (社) 日本船舶電装協会
  - ・船舶電装工事の技術革新のための調査研究（接着済み部材・母材の引張り強度試験）
- (財) 日本船用品検定協会
  - ・各国船用品の比較調査研究

### 2005（平成17）年度

- (財) 日本船舶技術研究協会
  - ・次世代救命システム基準の作成に関する調査研究(MP2)
  - ・火災試験方法コード(FTPCode)の総合見直しに関する調査研究
  - ・温室効果ガスの船舶からの排出算定基準の作成に関する調査研究(SPG)
    - MEPC/Circ. 471 のデータフォーマット及び改正案の検討
  - ・塗装基準に関する調査研究
  - ・機関室のオイルミスト感知装置(oil mist detector)に関する調査研究
  - ・温室効果ガス(GHG)の船舶からの排出算定法に関する調査研究
  - ・ISO/DIS 17338 船舶及び海洋技術—防火仕切の図記号の原案作成
  - ・JIS F 0808 船用電気器具環境試験通則の改正原案作成
- (社) 日本船舶電装協会
  - ・接着剤を用いた新しい電装工事方法に関する調査研究(接着済み部材・母材の引張り強度試験)
- (社) 日本船舶品質管理協会
  - ・発光ダイオード(LED)を使用した航海灯に関する調査研究
- (財) 日本船用品検定協会
  - ・各国船用品の比較調査研究

### 2006（平成18）年度

- (独) 海上技術安全研究所
  - ・バラスタック用防食塗装の性能評価試験に関する調査研究（共同研究）
- (財) 日本船舶技術研究協会
  - ・次世代救命システムの性能基準に関する調査研究(MP2)
  - ・火災試験方法コード(FTP Code)の総合見直し及び火災安全に係る基準に関する調査研究
  - ・温室効果ガス(GHG)の船舶からの排出算定法に関する調査研究
    - 温室効果ガスの排出に関する諸基準の調査
  - ・機関室のオイルミスト感知装置に関する調査研究
- (社) 日本船舶電装協会
  - ・電線貫通部の電装工事方法に関する技術開発(熱収縮作業済みチューブ部材の強度等の試験)
- (社) 日本船舶品質管理協会
  - ・SOLAS 新基準に対応する個人用救命設備に関する調査研究
- (財) 日本船用品検定協会
  - ・船舶用持ち運び式消火器の試験基準に関する調査研究

### 2007（平成19）年度

- (財) 日本船舶技術研究協会
  - ・船舶の防火に関する調査研究（防火）
    - 火災試験方法コードの総合見直し及び火災安全に係る基準に関する調査研究
  - ・船舶の防火に係る基準に関する調査研究
    - 高膨張泡消火装置の性能基準に関する調査研究
  - ・機関室のオイルミスト感知装置に関する調査研究
  - ・救命設備の総合的機能基準案の検討
    - 救命設備の総合的機能基準案の検討
    - 救命設備に関する同等性能評価基準の検討

- ・救命設備に関する同等性能評価の検討
- ・温室効果ガス(GHG)の船舶からの排出算定法に関する調査研究
- (社) 日本船舶品質管理協会
  - ・IC タグ、 船内 LAN 等の活用に関する基礎的な調査研究
  - ・イマーシブスーツの作業性能改善に関する調査研究
- (財) 日本船用品検定協会
  - ・救命設備関連の型式承認基準の見直しに関する調査研究

## 2008 (平成 20) 年度

## 日本小型船舶検査機構

- ・小型船舶用膨脹式救命胴衣の劣化に関する調査研究
- (財) 日本船舶技術研究協会
  - ・救命設備の総合的性能基準に関する調査研究 (救命プロジェクト)
    - 救命設備の総合的性能基準案の検討
    - 救命設備に関する同等性能評価基準案の検討
    - 救命設備試験勧告の見直し
  - ・船舶の防火に関する調査研究 (防火プロジェクト)
    - 火災試験方法コード(FTP Code)の総合見直しに関する調査研究
    - 水素火災における高膨脹泡消火装置の性能に関する調査研究
    - FSS コードの改正案の策定
    - 火災安全に関わる基準に関する調査研究
  - ・機関室のオイルミスト感知装置に関する調査研究
- (社) 日本船舶電装協会
  - ・船舶電装工事 (電路軽量化) の技術革新のための調査研究
- (社) 日本船舶品質管理協会
  - ・救命艇離脱フック機構の安全性向上に関する調査研究
  - ・IC タグ、 船内 LAN 等の活用に関する基礎的な調査研究
- (財) 日本船用品検定協会
  - ・平成 20 年度 型式承認試験基準見直しに関する調査研究
    - 航海灯関連の型式承認試験基準案原案の改正等に関する調査研究報告書
    - 浸水警報装置の検知器及び警報盤の型式承認基準原案・策定に関する調査報告書
    - 個人用救命設備の型式承認試験基準に関する調査研究

## 2009 (平成 21) 年度

## 日本小型船舶検査機構

- ・小型船舶用自動拡散型消火器の火災実験
- ・小型船舶用固型式救命胴衣開発試作品の性能試験
- (財) 日本船舶技術研究協会
  - ・救命設備の総合的性能基準に関する調査研究 (IMO フォロー：救命)
    - IMO/DE 救命設備コレポン対応
    - イマーシブスーツの保温性基準に関する調査研究
  - ・船舶の防火に係る基準に関する調査研究 (IMO フォロー：防火)
    - 火災安全に関わる基準に関する調査研究
      - FTP Code Part2 および ISO 21489 に関する試験所間試験の動向調査
      - FTP Code Part2 および ISO 21489 の不確かさの推定
      - FTP Code Part2 および ISO 21489 の規格上にない技術的注意点のまとめ
      - ISO 21489 の規格の変更点の把握と対処
    - IMO FSS コードの見直しに関する調査研究

## 6 資料

(財) 日本舶用品検定協会

- ・平成 21 年度 型式承認試験基準等の見直しに関する調査研究
  - 集団用救命設備に関する調査研究報告書
  - 消火ホースノズルに関する調査研究報告書
  - 救命胴衣、作業用救命衣等の型式承認基準の改正に関する調査研究報告書

2010 (平成 22) 年度

(財) 日本船舶技術研究協会

- ・救命設備の総合的性能基準に関する調査研究 (IM0 フォロー：救命)
  - 船舶救命設備の包括的性能基準に関する調査
  - イマーシヨンスーツの保温性試験に関する検討

(財) 日本舶用品検定協会

- ・救命胴衣、作業用救命衣等の型式承認試験基準改正の調査研究

2011 (平成 23) 年度

(財) 日本船舶技術研究協会

- ・船舶の救命設備に係る基準に関する調査研究 (IM0 フォロー：救命)
  - 船舶救命設備の基本性能要件に関する検討
  - イマーシヨンスーツの保温性試験の検討

(一財) 日本舶用品検定協会

- ・平成 23 年度 型式承認試験基準等の見直しの調査研究
  - IM0 改正内容の調査
  - 救命胴衣等の改正原案作成
  - 救命いかだの浸水試験の検討
  - 救命いかだ、救命艇の改正原案作成
  - 救命艇 (フックを含む) の改正原案作成
- ・居室バルコニー用固定式火災探知警報装置の紫外線耐性の調査研究

2012 (平成 24) 年度

(一財) 日本船舶技術研究協会

- ・船舶の救命設備に係る基準に関する調査研究 (IM0 フォロー：救命)
  - 船舶救命設備の包括的見直しに向けた検討

(一財) 日本舶用品検定協会

- ・煙探知器感度測定機器の相関関係の調査研究

2013 (平成 25) 年度

日本小型船舶検査機構

- ・諸外国の個人用浮遊具に関する技術基準調査

(一財) 日本船舶技術研究協会

- ・船舶の救命設備に係る基準に関する調査研究 (IM0 フォロー：救命)
  - 船舶救命設備の包括的見直しに向けた検討

(一財) 日本舶用品検定協会

- ・津波対策用救命胴衣の技術基準の開発調査研究
  - 滞在用胴衣の技術基準の開発及び移動用胴衣の性能に関する基礎研究

2014 (平成 26) 年度

海上保安庁

- ・強化プラスチック (FRP) に関する試験

日本小型船舶検査機構

- ・諸外国の個人用浮遊具に関する技術基準追加調査

- (一財) 日本船舶技術研究協会
  - ・船舶の救命設備に係る基準に関する調査研究 (IMO フォロー：救命)
  - 救命設備 CG への対応

- (一財) 日本舶用品検定協会
  - ・性能基準緩和に対応した SOLAS 型救命胴衣の調査研究

環境省

- ・フレキシブルコンテナ性能試験業務

2015 (平成 27) 年度

—

2016 (平成 28) 年度

- (一財) 日本船舶技術研究協会
  - ・極海航行船コードに関連する救命設備に対する評価項目の検討
  - 評価基準検討のための基礎的資料の作成
  - ・極海航行船コードに関連する救命設備の新規作業項目の検討
  - ISO 新規作業項目提案及び LSA コードとの取り合い整理資料の作成
- (一社) 日本船舶品質管理協会
  - ・小型船舶用救命胴衣の安全に係る性能評価に関する実験
- (一財) 日本舶用品検定協会
  - ・各国舶用品の品質比較調査研究

2017 (平成 29) 年度

国土交通省

- ・瀬渡船釣り客死亡事故に係るフローティングベストの性能調査

日本小型船舶検査機構

- ・海外製ライフジャケットの基準と認証制度に関する調査

- (一財) 日本船舶技術研究協会
  - ・極海コードに関連する救命設備の性能基準等の調査

2018 (平成 30) 年度

海上保安庁

- ・強化プラスチック (FRP) に関する試験
- ・作業用救命胴衣の開発に係る性能試験

2019 (令和 1) 年度

- (一財) 日本船舶技術研究協会
  - ・IMO フォロー (救命検討会)
  - SOLAS 型救命胴衣の復正の再現性に関する研究

2020 (令和 2) 年度

(国研) 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所

- ・SOLAS 型救命胴衣復正性能水槽試験

- (一財) 日本舶用品検定協会
  - ・イマーシブスーツの試験に係るサーマルマネキン性能確保に関する共同調査

2021 (令和 3) 年度

- (一財) 日本舶用品検定協会
  - ・外国製救命胴衣及び外国製救命胴衣灯の比較調査研究 (予備試験)